

一割八分の値上りとなつてゐるから、結局は農産物の高くなつたのよりも五分だけ高い品物を買はされてゐるのである。これではイクラ米、麥の値段があがつても生活は劇にもマシテ苦しくなるのである。

昨八年度の米の全國實收高は七千八十四萬石と云ふ未曾有の増加であつたが豊作でも高い小作米を地主に搾り取られてゐる小作人は、米穀統制法によつて米の値段が最底二十三圓三十錢と決められてゐても、肥料借金にオヒマワされてゐるためワズカな手持米もスグ現金と換へねばならず、そのために米穀統制法の最底値段以下でたゞき買ひ五月頃からは食ふ米さへ持たず、手間稼や副業で得たワツカな収入をもつて高い米を買はねばならない有様で米穀統制法によつて救はれてゐるのは、大地主や

米穀商人であつて小作農民は米穀統制法のオカゲで却つて高い米を買はねばならないのである。

全國二百萬戸の養蠶農民は人絹の壓迫、不景氣のためにアメリカの生糸消費量が激減して、生糸の値段がガタ落となり、昨年の春、五、六圓したマユも今年の夏には一圓六、七十錢となり平均生産者三圓四十錢の半分にもあたらない慘落に、生命線をチヂメられてゐるだけである。それに現金支出の大部分を占める肥料は會社に自由にアヤツラレて上る一方であり、不在地主が多くなつたので、農民負擔の戸數割が上り、教育、土木等の町村豫算がフエてゐるために農民は年一年と重い税金を取られ、肥料商、米穀商、高利貸からの借金は利子さへ支拂ふことが出来ず小作農民は不安と貧乏の實苦をうけ